

フローリング

エバーロ・プランク

施工説明書 06-EBP01T-04

このたびは当社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
この説明書をよくお読みのうえ、正しく施工してください。

●安全上のご注意

この表示の欄は「傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害、損害の程度」です。



接着剤を使用する際は、換気を十分に行ってください。



接着剤を使用する前に必ず接着剤容器に記載されている、安全上の注意、使用方法、使用上の注意を読み正しくご使用ください。
守らない場合、健康を害するおそれがあります。



禁止



実行



注意

お守りいただく内容を記号で区分し、説明しています。

●施工上のご注意



この商品は、一般内装（住宅）用の床材です。屋外及び重歩行（土足）用、業務用として使用される居室にはご使用になれません。また、屋内でも浴室など、湯気にさらされたり、たえず水がかかったりするところでは、ご使用になれません。



指定以外の釘は使用しないでください。フィニッシュネイルなどを使用しますと、フロア施工後に床鳴り（踏み鳴り）、目すき、反り等の原因となります。



この商品のJASの曲げ性能区分は「直張用」です。必ず捨て貼りが必要です。（根太に直接施工はできません）



施工前に必ず仮並べを行い、色の濃淡、空柄など、部分的に片寄らないように、全体の色柄のバランスをご確認ください。



床暖房に施工する際は、床暖房放熱体メーカーの施工説明書をよく読み、注意事項を守って、正しく施工してください。なお、適合機種については当社のカタログをご参照ください。



施工工具は、各工具の取扱説明書に従って、適切に保護具（保護メガネ、防じんマスクなど）を使用してください。特に、フロアカット時は木粉により、むせる場合があります。



直射日光に当たったり、雨に濡れる場所、湿気が多いところでは保管しないでください。長時間、水に濡れたまま放置しますと、カビの発生や腐れ、変色、ひび割れ、はがれ、膨れなどの原因となります。また、立てかけ状態での保管を避け、開梱後は速やかに施工してください。



木質フロアは湿度の変化により伸縮する性質があります。特にフロア長辺側の巾木や被せ見切りの下などには、必ずすき間を設けて、伸びを吸収できるようにしてください。



下地が濡れていないことをご確認ください。下地が濡れていると施工後、フロアへのカビの発生、変色、突き上げ、目すき、反り、床鳴り（踏み鳴り）、膨れが発生する事がありますので、下地の含水率が確実に14%以下になってから施工してください。



床施工の安定度をより高めるため、オン実とメン実の嵌合をかために設定しております。ご了承くださいませようお願いします。



接着剤は必ずご使用ください。指定以外の接着剤（木工用白ボンドなど）を使用すると、フロア施工後、床鳴り（踏み鳴り）や接着不良、目すき、反りなどのトラブルの原因となります。特に、指定以外の接着剤（木工用白ボンドなど）は、床暖房のパイプを劣化させる原因となりますので、床暖房には使用しないでください。



キャスター付の椅子や車いすをご使用されると、傷やへこみの原因となりますのでご注意ください。



ピアノなど重い家具、電化製品等の下にはインシュレーターをご使用ください。



ワックスを塗布されますと、フロアの表面がワックスの被膜となるため、傷のつきにくさ、抗菌性等の塗膜性能が発揮されなくなります。

1 施工前の準備

■梱包内容

床材

タイプ	商品名	寸法	入数
1×6タイプ	エバーロ・プランク	12×303×1,818mm	6枚 (3.3㎡)

■使用する接着剤

必ず、下記接着剤をご使用ください。

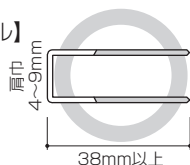
メーカー名	商品名	内容量	使用量の目安		可使用時間	作業温度
			床暖房用として 施工する場合	非床暖房用として 施工する場合		
コニシ(株)	夏用：KU928RS 4Lパック	5.5kg	8.3坪 /パック	14.3坪 /パック	40分	夏用 (S) 15～35℃
	冬用：KU928RW 4Lパック	5.5kg				冬用 (W) 5～25℃
	KU928C-X アプリパック	600ml	1.1坪 /パック	2.1坪 /パック	—	—
オート化学工業(株)	オートアドハーネダジャンボ (カートリッジタイプ・12本入)	850ml	1.8坪/本	3.0坪/本	—	—
	オートフロアスター 600 (フィルムパック・10本入)	600ml	1.3坪/本	2.1坪/本	—	—

※商品番号末尾Sは夏期、Wは冬期使用タイプです。缶入りタイプを使用の場合は、ノズル付容器に入れてご使用ください。
※実接着には、1穴ノズルをご使用ください。

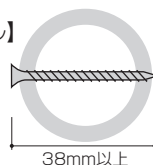
■フロア固定用の釘

フロア固定用の釘は必ずフロアステーブルまたはフロアネイルをご使用ください。
フィニッシュネイルは、固定する力が弱いので、絶対にご使用にならないでください。

【フロアステーブル】



【フロアネイル】

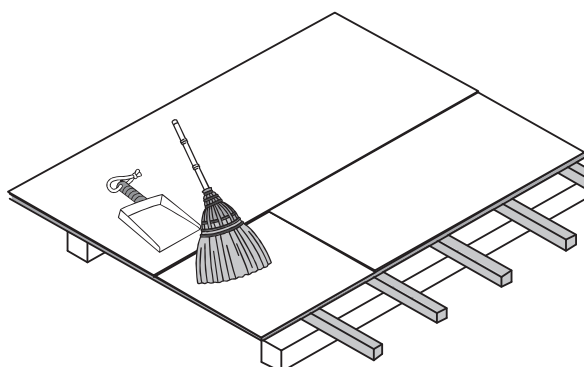


【フィニッシュネイル】



2 下地の確認

■捨て張り合板下地（ネダレス工法含む）の場合



- 厚さ12mm以上!!
- 濡れていないこと!! (含水率14%以下)
- 段差がないこと!! 1mm以下



砂、木クズなどはキレイに掃除!!

■二重床下地の場合

- ①スラブ含水率が下がっていることを確認してください。含水率が高いと突き上げやふくれ等が発生します。
- ②二重床メーカーの施工説明書を読み、注意事項を守って正しく施工してください。
- ③下地材に床鳴りや異常なたわみのある箇所がないか点検してください。

■床暖房を設置する場合

- ①床暖房放熱体メーカーの施工説明書をよく読み、注意事項を守って、正しく施工されているか確認してください。
なお、二重床に床暖房を設置されている場合は、ベースパネル（パーティクルボードなど）に捨て張り合板が施工されています。この捨て張り合板の接続箇所が、ベースパネル（パーティクルボードなど）の接続箇所より、100mm以上離れているか確認してください。
- ②床暖房放熱体の「通湯（漏洩）・通電テスト」、「試運転」など、機器の工事および検査が完了してから施工してください。

3 施工の手順

1. 美しく、バランスよく並べる。

■仮並べについて

- ❗ 施工する前に必ず仮並べを行い、色の濃淡・杳柄などが部分的に片寄らないように、全体の色柄のバランスを確認してください。

■割り付けについて

- ❗ ①短辺の接続箇所が隣り合わないようにする。
②606mm（2尺）ずらし、909mm（3尺）ずらしをおすすめします。
短辺の接続箇所が隣り合わせになっていると、施工後にフロアが目すき、段違い、床鳴り（踏み鳴り）などの不具合が発生することがあります。

《捨て張りの場合》

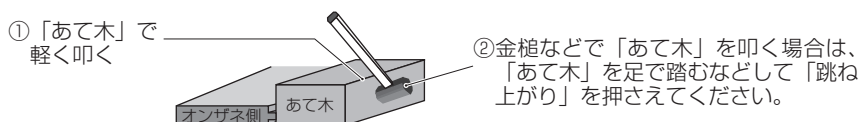
- ❗ フロアの接続箇所と下地の接続箇所は100mm以上離れるように割り付けてください。

《床暖房の場合》

- ❗ 床暖房放熱体の「釘打ち可能部分」に従って、割り付けてください。

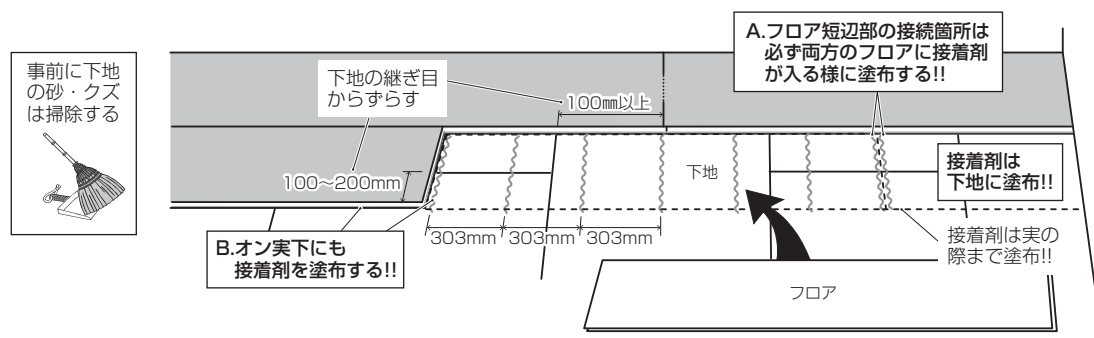
2. すき間なく寄せる

■寄せる



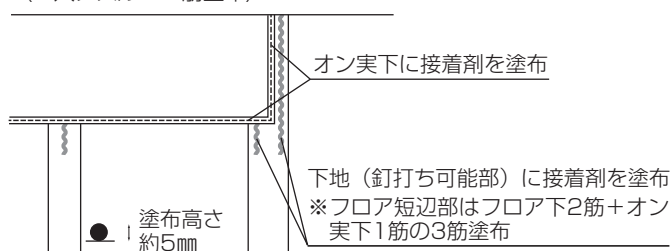
3. しっかりと固定する

■接着剤の塗布



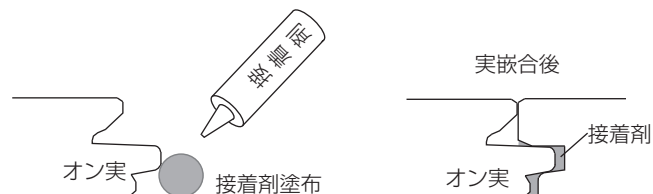
A. 接続箇所の接着剤塗布方法

〈1穴ノズル：1筋塗布〉



B. 実部の接着剤塗布方法

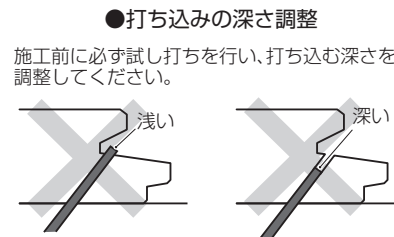
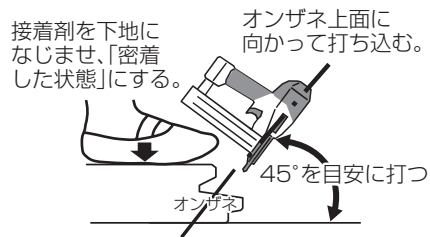
〈床暖房部〉 ・ フロア短辺部と長辺部のオン実下に接着剤を塗布
〈非床暖房部〉 ・ フロア短辺部のオン実下に接着剤を塗布



- ①小根太のない部分にはパイプが内蔵されており、釘打ちの際、誤ってパイプを打ち抜く恐れがあります。
 - ②接着剤に記載の使用方法を良く読んで正しくご使用ください。（衣類などに接着剤が付くと、取れなくなりますので、十分ご注意ください。）
 - ③床材の表面に接着剤が付いた時は、すぐに乾いた布で拭き取るか、アルコールを含ませた布ですぐに拭き取ってください。
- ※接着剤は湿気で固まりますので、水拭きはしないでください。所定通り接着剤を塗布しないと、目すきや床鳴り（踏み鳴り）の原因となります。

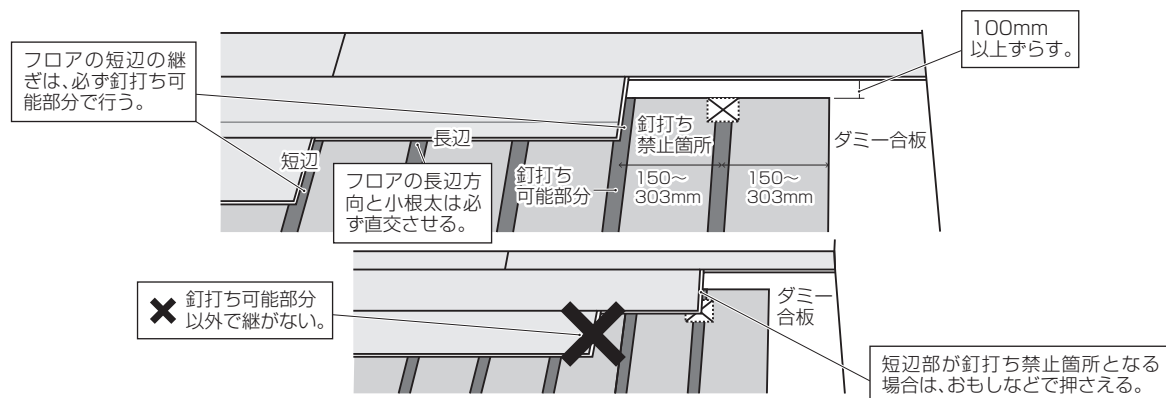
■釘の打ち方

- ①フロア上での作業時は、表面に傷や汚れをつけないように、十分にご注意ください。
- ②釘を打つ際は、オンザネを破壊したり釘の頭による膨れが表面に出ないように45°を目安に打ってください。



《割り付け【床暖房用として施工する場合】》

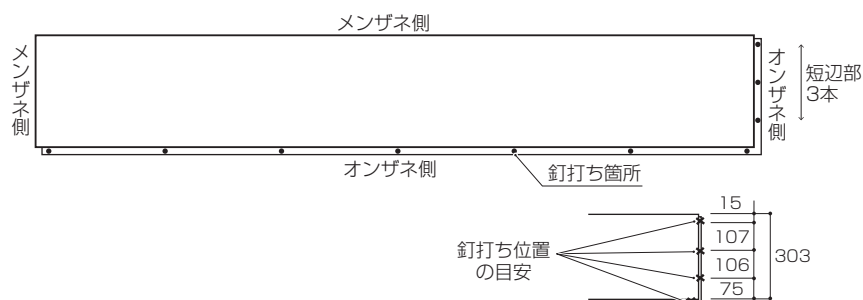
- ①床暖房用の場合、放熱体の「釘打ち可能部分」以外では、絶対に釘・仮り釘（フィニッシュネイル含む）などを打たないでください。「温水パイプ」や「電気配線」を打ち抜いて、漏水・漏電の原因となります。
- ②釘打ち可能部分以外にフロア短辺の継ぎ目を割り付けると、釘固定ができず目すきの原因となります。



《釘打ちの位置【1×6タイプ（303mm巾）の場合】》

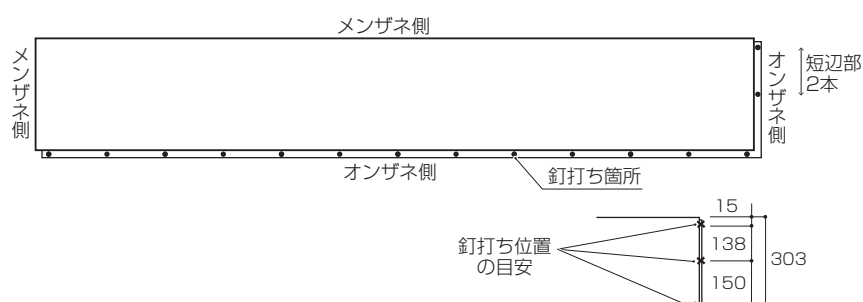
●床暖房用として施工する場合

- ①フロア1枚あたり長辺方向に7本（303mmピッチ）短辺方向に3本打ち込んでください。
- ②温水マットの小根太の延長線上で小根太が無く釘が打てない場合は、その周辺を重しで押さえてください。



●非床暖房用として施工する場合

- ①フロア1枚あたり長辺方向に13本（150mmピッチ）短辺方向に2本打ち込んでください。
- ②非床暖房用では、長辺方向の実接着をしないため、釘打ちを150mmピッチとしています。

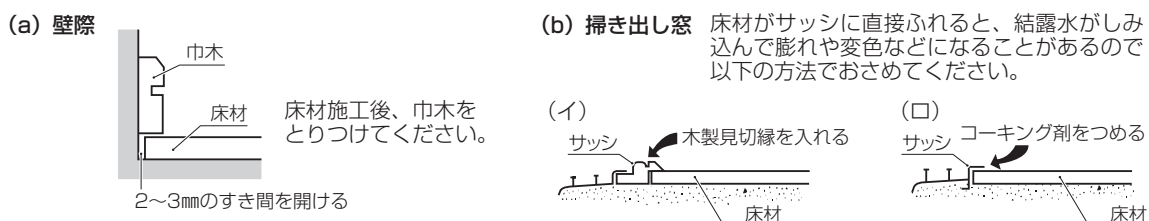


《床暖房までに必要な期間》

接着剤が硬化するのに必要な期間を、十分に取ってから床暖房の運転を開始してください。
(5℃以下で6日以上、5～15℃で4日以上、15℃以上で2日以上)

4. キレイにおさめる

■おさめ方



《床暖房用として施工する場合》

一続きで可以使用できる長さは、一辺10mまでとしてください。(上記方法で部屋周辺をおさめる場合)
床暖房用の仕上げ材として「木材のくせ」をできる限り抑えるようにしてありますが、部屋の広さや壁際のおさまりなどによっては、壁際にすき間ができることがあります。

5. 施工後も美しく（養生）

■養生

- ①施工後は直射日光を避け、傷や汚れを防ぐために、養生シートを被せ、「内装床材対応の専用養生テープ」で固定してください。その上に合板、養生ボードを敷いて十分に養生してください。なお、養生シートとフロアの間に、ゴミなどが無いようにフロア表面を、必ず掃除して下さい。
- ②養生シートは必ず、壁際、サッシ際まで被せてください。養生シートが被っていない場所は、直射日光にあたり、色が変わる場合があります。
- ③養生シートは平面（フラット）タイプをご使用ください。凹凸（エンボス）タイプの養生シートを使用すると、艶ムラや養生シートの跡が残ったりしますので使用しないでください。
- ④養生に梱包用テープなどを使用した場合は、粘着力が強く、フロアの化粧面を破損させたり、粘着剤が残ったりする可能性があります。

4 お引き渡しまでの間のご注意

■換気についてのご注意

- ①当商品はF☆☆☆☆タイプとなっておりますが、お引渡しまでの間できるだけ、居室等の換気につとめてくださいますようお願いいたします。
- ②換気することにより、湿気が室内にこもらず、突き上げ等の対策となります。

■水濡れ等に対するご注意

工事完了後は、雨水に濡らさないよう窓の閉め忘れなどにご注意ください。万一、水濡れした場合はすぐに拭き取り、十分に乾かしてください。
濡れたまま放置しておくと、膨れや変色などになることがあります。

【工事業者様へ】施工終了後、この施工説明書はクリーニング業者様へお伝えください。

■ワックスについて

エベロ・プランクには、ワックスがけは必要ありません。

ワックスがけを希望される場合は、ワックスがけは可能です。

但し、ワックスを塗布されますと、表面の平滑性・艶の変化などが発生し、フロア表面の美観を損ねることがあります。

また、フロアの表面がワックスの被膜となるため、傷の付きにくさ、抗菌性等の塗膜性能が発揮されなくなります。

ワックスがけをされる場合は、下表に記載のものをご使用ください。

ワックスがけをされる場合は、ワックスに記載の使用上の注意をよく読んでからご使用ください。

また、事前に試し塗り等で仕上げの確認を行うことをお勧めします。

メーカー名	商品名	業務用	家庭用
(株)リンレイ	ハイテックフローリングコート	○	○
	ハイテックフローリングコート つや消し40	○	—
	ノンブライト	—	○



①ワックスは木質床用水性樹脂ワックスを使用してください。

②ロウタイプは使用しないでください。

5 ワックス使用時の注意事項

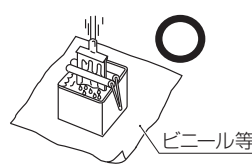
ワックスは絶対に床の上に流さないでください。

床面にワックスを流したり、しずくが落ちるような布で塗ったりすると、部分的にフロア表面の美観を損ねることがあります。



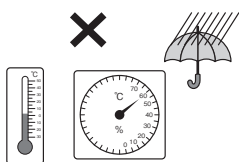
ワックスはきれいな布に含ませ、しずくが落ちない程度に絞って床面にムラなく塗りひろげてください。

容器の下にはビニール等を敷いてください。



室内の温度が5℃以下の時や雨の日で湿度が極端に高い時はワックスは使用しないでください。

床の表面が白っぽくなる原因となります。

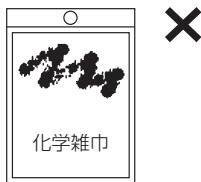


ワックスがけの際は、換気を行ってください。
湿気がこもり、ムラ等の原因になります。

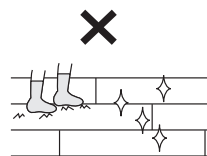


ワックスがけの前後で化学雑巾は使用しないでください。

床の表面が白っぽくなる原因となります。

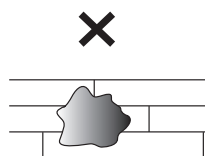
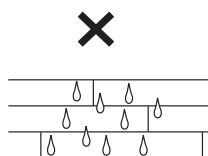


ワックスを厚く塗りすぎると、歩行時にワックスの被膜の割れる音が発生することがあります。



ワックスをかけるときは、床面が十分に乾燥している（水気がない）ことを確認してください。

床用洗剤を使用する時は、洗剤分が床に残らないように拭き取ってからワックスを塗ってください。



miratap

株式会社 ミラタップ miratap inc.

●お客様相談センター

受付時間はホームページにて最新情報をご確認ください。

<https://www.miratap.co.jp/shop/>

TEL: 0120-468-838

FAX: 0120-382-096

